

令和7年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

具体的な達成目標

【重点目標】安心して登校、満足して下校できる学校

～自己有用感が高まる学校を目指す～

【達成目標】○進んで挨拶をかわす

85%

○進んで自分の思いや考えを伝える

85%

○進んで遊びや運動をする

85%

前年度

昨年度の年度末評価では、児童会等の取組の成果もあり「挨拶」と「遊びや運動」の項目において児童の自己評価が90%を超えていたが、「表現」については目標を達成することができなかった。保護者の評価では「遊びや運動」の項目で80%を切っており、家庭での生活習慣に課題が見られた。今年度は、言語活動において「聴く力」の育成を重視しながら、主体的に関わり合い、考えを深める児童の育成に努めていく。さらに、異学年交流や合同学習等、子供が主体となった活動や子供がコミュニケーションの楽しさを実感できる場を充実させていく。また、家庭と連携し、家庭学習の充実やよりよい生活習慣の定着を図っていく。

行動Ⅰ

(1) 進んで挨拶をかわす

- ① 「進んで挨拶」「相手を見て挨拶」等、相手に気持ちのよい挨拶ができるように、児童会活動を活性化し、子供が主体となった挨拶運動を展開する。
- ② 異学年交流の機会の充実を図り、互いのことをよく知り、よさを認め合えるようにする。
- ③ P T Aや地域、中学校、高校と連携し、挨拶運動に取り組む。
- ④ 特別の教科 道徳や学級活動等で、挨拶をかわすことから始まる豊かな人間関係について考える場を設ける。

(2) 進んで自分の思いや考えを伝える

- ① 表現の基礎となる「話す力」「聴く力」「書く力」を身に付け、自分の思いや考えが相手に伝わるように、国語科を中心に研修を進める。
- ② どの教科においても、自分の考えをもつ時間や、思いや考え、感想を伝え合う場を保障する。
- ③ 学校行事や地域の行事、土曜学習等、様々な人との関わりの中で心を開いて人とコミュニケーションする楽しさを味わうことができるようにする。

(3) 進んで遊びや運動をする

- ① 健康委員会を中心に、児童が主体的に体力づくりや健康的な生活習慣に取り組めるよう、集会や活動を工夫する。
- ② 「みんなでチャレンジ3015」の取組を全員が達成できるように推進していく。
- ③ 家庭でできる体力づくりの紹介や各種カードを通して、子供が家庭で積極的に運動に取り組むように働きかけていく。

(1) (2) (3) の実践が主体的になるように、評価カードを工夫する。

中間評価

中間評価

- ・各アクションについての自己評価（児童・教員）
 - ・保護者評価
 - ・アクション効果についての実態把握（データ収集・分析）
- (1) 「進んで挨拶をかわす」の各自の目当てが達成できたか。
 (2) 「進んで自分の思いや考えを伝える」の各自の目当てが達成できたか。
 (3) 「進んで遊びや運動をする」の各自の目当てが達成できたか。

公開について

- ・学校だよりやHPによる学校の取組状況の発信
- ・学校評議員会の開催

全体研修会等で評価結果を分析し、目標値の変更や具体的な改善策を検討する。

行動Ⅱ

(1) 進んで挨拶をかわす

- ①～④の継続・見直し

(2) 進んで自分の思いや考えを伝える

- ①～③の継続・見直し
 ④ 自分の成長や成果が実感できる表現活動の場（集会・SDGsの取組等）を設定する。

(3) 進んで遊びや運動をする

- ①～③は継続・見直し
 ④ 冬期間の運動の仕方を委員会や学級活動で話し合い、改善を図る。

年度末評価

年度末評価

- ・各アクションについての自己評価（児童・教員）
 - ・保護者評価
 - ・アクション効果についての実態把握（データ収集・分析）
 - ・評価結果を提示し、学校の教育活動について助言を得る。（学校評議員）
- (1) 「進んで挨拶をかわす」の各自の目当てが達成できたか。
 (2) 「進んで自分の思いや考えを表す」の各自の目当てが達成できたか。
 (3) 「進んで遊びや運動をする」の各自の目当てが達成できたか。

公開について

- ・学校だよりやHPによる学校の取組状況の発信
- ・学校評議員会の開催

次年度

年度末評価結果を基に児童の実態や教員の取組を見直し、付けたい力や必要な手立てを明確にして、次年度の重点目標やアクションプラン、教育計画に生かす。